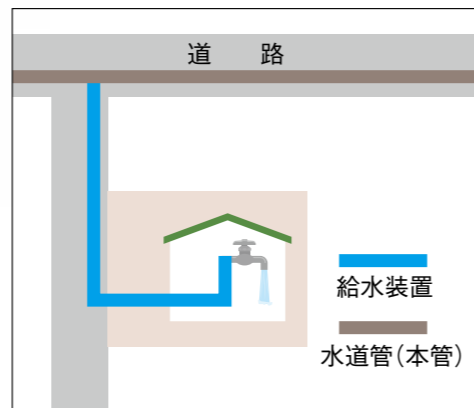




冬を迎える前に…

水道本管以外の修理は
各戸負担となります



今年も冬将軍が近づいて来ています。冬場に長期間留守にしたり、外気温が氷点下になったりすると、水道が凍結しやすくなります。屋外や北側で日が当たらない場所、風当たりが強いところ、むき出しになっている水道管などは、特に凍結に注意が必要となります。

なお、町が敷設した水道管（本管）から各家庭や事業所までの間（給水装置）で漏水や修繕が発生した場合は、各戸の負担になりますのでご注意ください。

水道工事は町指定の「指定給水装置工事事業者」で行ってください

ごく簡単な修理（例・パッキンの取り換え）など、給水装置の末端に設置されている部品の取り換え以外の水道の給水工事については「水道法」の規定により、町長が指定した「指定給水装置工事事業者」以外はできないことになっています。

町で指定している給水工事が実施できる事業者は右の表のとおりですので、ご確認ください。

弟子屈町指定給水装置工事事業者

指定店名	住 所	電話番号
【町内事業者】		
(有)鎌田水道工務店	高栄3-1-6	482-2140
(株)協和建設	高栄1-2-2	482-2369
(有)服部水道工務店	摩周1-2-1	482-1066
鋼管建設工業(株)	美里4-1-20	482-4217
(株)近藤建設	鈴蘭2-1-11	482-1060
(株)大栄電業	泉4-10-3	482-2677
明盛建設(株)弟子屈営業所	桜丘3-1-6	482-1477
【町外事業者】		
東陽設備(有)	大空町東藻琴392-14	0152(66)2753
大倉工業(株)	釧路市光陽町6-6	0154(24)5176
(株)共立	釧路市松浦町11-3	0154(22)0808
総合設備(株)	釧路市入江町7-27	0154(25)3116
太平洋設備(株)	釧路市春採5-16-17	0154(46)3474
後藤工務店(有)	釧路町若葉5-26	0154(36)2325
第一水道工業(株)	釧路市入江町8-5	0154(23)3414
(株)竹崎工業	別海町西春別駅前錦町200	0153(77)2144
協和建設工業(株)	別海町別海旭町131	0153(75)2240
(有)釧路設備工業	釧路市愛国西1-10-8	0154(37)3178
(有)細谷設備	中標津町計根本通東5-20-1	0153(78)2626
(株)ナカセツ	中標津町桜ヶ丘3-17	0153(77)9442
(株)クラシアン	釧路市川上町6-2	0120-511-511
(株)田中設備工業	帯広市西10条南28丁目26	0155(66)6565

漏水調査を行っています

町では、「検針票の使用量が毎月と比べて多い」「水道を使用していないのに水道メーターが動いている」など、漏水の疑いがある場合には無料で漏水調査を行っています。調査を希望される方は役場水道課までお問い合わせください。

漏水が本管から給水装置（蛇口）の間で発生していた場合は1カ月以内に修理を行っていただきます。期限内に修理がされない場合には漏水による水道料金もお支払いしていただくこととなりますので、ご注意ください。

また、各家庭などで漏水を発見し、修理を水道業者に依頼された場合には、役場水道課にも必ずご連絡をお願いします。

問い合わせ先／役場水道課
☎ 4 8 2 - 2 9 4 2 (課直通)

新たな地域おこし協力隊員が着任！

本町の地域おこし協力隊に新たな隊員、川上 椋輔(かわかみ りょうすけ)さん(25歳)がシティープロモーション活動支援員として10月5日に着任しました。主に町の情報発信を担当し、YouTube町公式チャンネルで生配信(本紙23ページ参照)なども行います。すでに着任している協力隊員7人とまちづくりに新しい風を吹き込みます。



川上 椋輔 さん

川上さんプロフィール

- ▶ 前住地／札幌市(宮城県出身)
- ▶ 趣味／日本酒、ウィンドサーフィン、取材
- ▶ 長所／ポジティブ、アクティブ
- ▶ 短所／じっとしてられないこと



川上さんのツイッター

初めまして！10月から弟子屈町地域おこし協力隊シティープロモーション活動支援員に着任しました、川上椋輔です。9月までは札幌のテレビ局 UHB北海道文化放送でアナウンサーとして活動していました。去年、自転車を通じて道の駅を巡る夕方情報番組を担当していたあの男です。弟子屈町に来てからも5回ほど「道の駅」の自転車アナウンサーですか」と声をかけていただきました。将来は地方創生を担える人材になりたいという思いがあり、新型コロナウイルス感染症の拡大による世の中の変化を機に転職を決意しました。

「なぜ弟子屈町なのか？」このことを話し始めると長くなってしまいますが、町民の皆さんには当たり前の日常の光景が、計り知れない価値を持ち合わせていると感じたことが一番のきっかけです。

新型コロナウイルス感染症を通じ、日本の地方のあり方がさまざまな形で問われている今、弟子屈町にはこれからの新時代の地方を担うだけの可能性があると確信しています。弟子屈町の魅力を町民の皆さんといっしょにさまざまな形で発信して行きたいと思っています。最後はアナウンサーらしく、大好きな言葉で…それは「一燈照隅、万燈照国」(いつつうしよとうく、ばんとうしやうこう)です。一隅を照らす一つの燈は小さいが、それらの燈が集まれば国をも照らすことができるという意味があります。自分が一隅を照らす燈になれるよう精進するのはもちろんのこと。弟子屈町の燈、そして、今後出会うであろう皆さんの灯を見つつけられるよう日々まい進していきます。どうぞよろしくお願ひします。

活躍中の地域おこし協力隊の皆さん



青木 崇さん、伊藤 恭子さん、吉田 祥子さん、大森 慎一郎さん、生永 恵美子さん、ベースラー・パスカルさん、安藤 心さん、川上 椋輔さん

地域おこし協力隊とは

地域おこし協力隊は、人口減少や少子高齢化などの進行が著しい地方において、地域外(都市部)の人材を積極的に誘致し、その定住・定着を図ることで、地域力を維持・強化していくことを目的とする取り組みです。2009年に総務省によって制度化されました。

2019年度には、全国1,071の自治体で5,349人の隊員が活躍しています。

問い合わせ先／役場まちづくり政策課政策調整係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)